



NPO PTPL “ともいき” 便り No.102

平成 28 年 (2016 年) 6 月 21 日発行

■夏至 6 月 21 日から 7 月 6 日までの節気

「夏至」の節気です。夏至は一年中でいちばん昼間が長く、夜が短い日です。夏至になると太陽がいちばん高い位置に動くので、太陽が出ている時間が長くなります。まさに「夏」に「至 (いたる)」ころです。

この時季、梅雨の恩恵にあずかって、本当に木々が万緑という言葉にふさわしく、公園や街路樹などは濃緑や薄緑など様々な緑色でいっぱい覆われ、眼を休ませてくれます。

●万緑叢中紅一点 (バンリョクソウチュウコウイッテン)

「万緑」は、見渡す限り一面の緑の意。「叢中」は、くさむらの中の意。見渡す限り緑のくさむらの中に、ただ一輪、紅色の花が艶やかに咲いている意味から。

王安石の詩『石榴を詠ず』に「万緑叢中紅一点、人を動かすに春色多きを須いず (人の心を動かす春の景色に多くのは要らない。赤い一輪の花だけで充分だ)」とあるのに基づきます。ちなみに紅一点の花はザクロの花で、今の時季咲く花です。現在は、多くの男性の中に一人だけ女性が入っていることのたとえです。多くのものの中に、ただ一つだけすぐれて目立つこと、を意味します。

●大祓は 6 月 30 日と 12 月 31 日に行われる祓の行事です。

大祓は半年の罪、穢れを祓い去り、無病息災を願う日本人の心が集う日です。6 月 30 日は「夏越の祓」、12 月 31 日は「年越しの祓」と呼ばれています。この日、白紙で作った人形で身体の穢れを祓い、神官が祓を行って川や海へ流します。

また茅(ちがや)で作った輪を腕に懸けたり、腰に帯びたり、家々では一人用の茅の輪を潜ったり、神社では神前に大輪の茅の輪を立て人々が大輪を潜ります。この輪を潜れば罪や穢れ、災厄や疫病を祓い清めるとされています。

茅の輪は蛇を象ったものとされ、水神の祭とも関連します。

大祓は半年の罪、穢れを祓い去り、無病息災を願う日本人の心が集う日です。茅の輪の由来は『備前風土記』の蘇民将来 (そみんしょうらい) の伝承により

ます。善行をした蘇民将来（そみんしょうらい）が武塔神（むとうのかみ）（素盞鳴尊すさのおのみこと）から「もしも疫病が流行したら、悪疫除去のしるしとして、茅の輪を腰につけると免れることができる」といわれ、疫病から免れることができたという伝承です。くぐり方は茅の輪のくぐり方は、「水無月（みなつき）の夏越（なご）しの祓（はらえ）する人はちとせの命のぶというなり」という古歌を唱えつつ、左まわり・右まわり・左まわりと、八の字を書くように三度くぐり抜けます。（茅の輪の解説は神田明神ホームページより）

私は長年6月と12月に入ると母親が寒川神社の形代を送ってくれます。その形代に氏名・年齢を記入し、身体の左右左を撫で、息を三度吹きかけ、送り返しています。

さて、事務所近くには歩いていけるところに山王日枝神社があります。今年は茅の輪くぐりに出かけようと思っています。

●東北六魂祭

今年は6月25日（土）と26日（日）の二日間、「未来に跳ねよ、東北の魂」という思いを込めて青森県青森市で開催されます。

六魂祭は東北6県、6市が力を合わせ、「東日本大地震の復旧、復興と鎮魂」を祈念して、東北6県の夏祭りが勢ぞろいする祭りです。今年で6県を一巡します。

2011年の宮城県仙台市（第1回）を皮切りに、岩手県盛岡市（第2回）、福島県福島市（第3回）、2014年は山形県山形市（第4回）、2015年秋田県秋田市（第5回）で開催されました。

●富士山山開き

7月1日は「富士山山開き」です。8月26日の「山仕舞（やまじまい）」のあいだに富士登山をする人は25万人とも30万人ともいわれています。

2013年6月の富士山世界遺産登録以降、2013年は31万人、2014年は28.5万人、2015年は23.4万と年々減少の傾向にあります。

昨年前年から約5,1万人減少しました。その理由を環境省は「複合的な要因がある」としつつ、東海地方の梅雨明けが例年よりやや遅く、山頂の雨天の日数が前年より11%多いなど「登山に適さない天候が多かった」と説明しています。

しかし、ただ天候面だけではなく、多くの日本人は富士山を霊峰と崇め、本当に大切な宝と思う心から登山を控えているのではないかと思わずにはられません。いかがでしょうか。これからが梅雨の本格シーズンです。皆さま、くれぐれもご自愛ください。佐藤 誠（NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局）

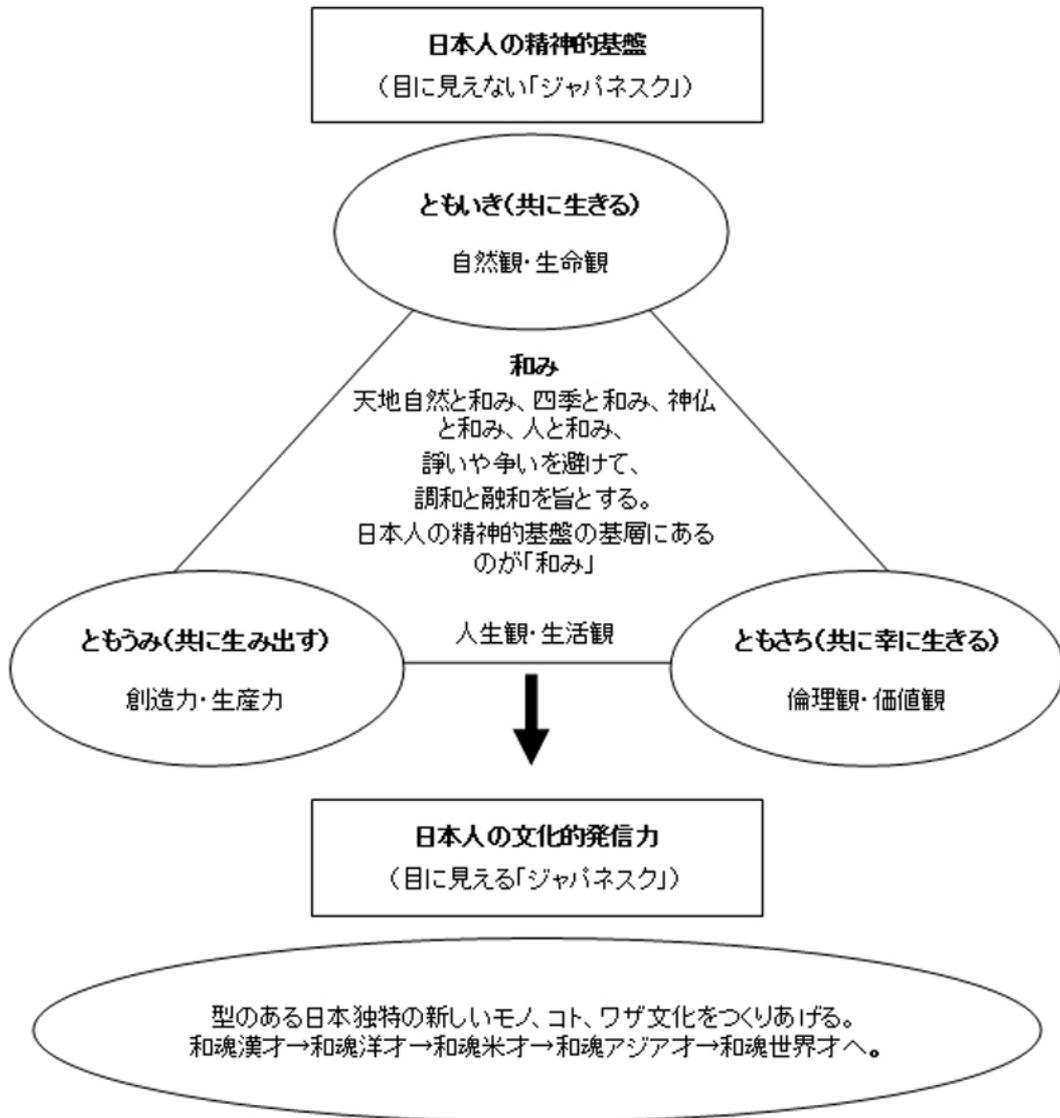
■ともいき・ともうみ・ともさち雑感彼是

日本の、日本人の精神的基盤（日本の、日本人のころ）

「和み（なごみ）」と「ともいき」「ともうみ」「ともさち」

自然が荒廃し、災害も多発、その上、人間の精神的荒廃も蔓延しているこの時代、私たち日本人の「和」を大切にすることを改めて蘇らせ、人と神と仏と自然とが「共に生きる」「共に生み出す」「共に幸せに生る」ことを旨として生きることが大切です。

皆さま、是非とも、ご意見ご感想をお聞かせください。



勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

■事務局だより

●ホタル前線

桜前線、紅葉前線は誰もが知っていますが、ホタル前線という言葉があることを知りました。植物や動物の状態が季節によって変化する現象を生物季節現象といい、その現象の観測を「生物季節観測」といい、気象庁はその1つとしてホタルの初見日も調査し発表しています。

ホタルの発生は例年5月上旬の沖縄から始まり、徐々に北上していき、関東は6月中旬から6月下旬、北海道は7月下旬の予定だそうです。

- NPO PTPL が展開している3つのフェイスブックをぜひ、ご覧ください。そして、「いいね」ボタンを押してください。また、文章に対するコメントもご遠慮なくお書き下さい。

「ともいき ぐらし」：<https://www.facebook.com/tomoikigurashi>

「おらが富士 計画 ふるさと富士山探し」：

<https://www.facebook.com/oragafuji/>

「不思議・驚き・魅力のジャパネスク」：

<https://www.facebook.com/japanesque.tokyo/>

●会員募集のご案内

NPO活動を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

NPO PTPL では、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAXにてお尋ねください。

NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局 担当：佐藤

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-2-18 虎ノ門興業ビル7階

電話：03-6205-7503 FAX：03-6205-7504

Email：info@ptpl.or.jp